



秋の叙勲 瑞宝双光章 村岡 宏造さん

昭和 37 年に水戸地方検察庁に採用され、水戸地方検察庁、宇都宮地方検察庁などを回り、平成 16 年に水戸地方検察庁首席捜査官を退職されるまでの 42 年間、さらに裁判所調停委員として 10 年間、法の適正適用の実現のため公務に尽力された功績が認められ受章されました。「永年にわたり誇りをもって携わることができたのも、多くの皆さんの支えがあったおかげです。特に上司や同僚、家族には変わらず支え続けてくれたことに感謝します」と受章の喜びを話してくれました。



お誕生会にかすみがうにゃが登場

12 月 16 日、やまゆり館で「12 月のお誕生会」が行われました。クリスマス一色に飾り付けられた会場で、12 月生まれの子どもたちをお祝いしていると、サプライズで「うにゃ」が登場し、子どもたちを驚かせていました。12 月生まれの「うにゃ」もお誕生会に参加し、特製の冠や歌のプレゼントをもらっていました。「うにゃ」はお祝いしてくれた子どもたちに、シールとお面のプレゼントを贈り、お誕生会は笑顔であふれていました。



観光帆引き船ライトアップ操業

11 月 29 日、歩崎沖合で「観光帆引き船ライトアップ操業」が行われました。午後 4 時のたそがれ時に出航した帆引き船は、夕焼けを背景に帆をなびかせていました。日が沈んで来ると、帆引き船はほのかな明かりにライトアップされ、湖上に浮かぶその姿は、とても幻想的な光景を作り上げていました。随伴船に乗船した参加者は、その優雅な帆引き船の姿をカメラに収めようと、ベストアングルを追い求め、シャッターを切っていました。



デート DV 出前講座を開講

12 月 22 日、千代田中学校で「人と人とのよりよい関係をつくるために」をテーマに、「デートDVって何?」と題した出前講座が行われました。この講座は男女共同参画事業の 1 つとして行われた講座で、1・2 年生が参加しました。「よりよい関係を作っていくにはどうしたらよいか」の質問に、生徒からは「相手の気持ちを考えて行動することが大切」や「お互い、自分の気持ちを言葉にすることが大事」などの意見が出ました。



ギャラリーカフェ「アートの森」オープン

12 月 10 日、深谷にランチ&カフェや貸しアートギャラリー&スペース、雑貨の販売などの多目的施設「アートの森」がオープンしました。市のまちづくりファンドを活用し、空き店舗を改修して、地域のたまり場を作ろうと、美術や芸術を愛好する市民団体「アート・エコクラブ」が企画。店主は「のんびりお茶したい方やアートを楽しみたい方、自分の作品を展示したい方、教室を開きたい方など、お気軽にご来店ください」と話してくれました。



タイムカプセル埋蔵品掘り起こし

12 月 23 日、あじさい館で『霞ヶ浦町 2020 タイムカプセル実行委員会』による、市のまちづくりファンドを活用した「タイムカプセルの掘り起こし」が行われました。2000 年当時の小中学生や住民がカプセルを掘り起こし、20 年後の自分に宛てた作文や当時の写真などを見つけると、当時の思い出などを懐かしむ参加者の姿がありました。今後は、中身を整理し、来春に同館で展示後、本人に返送される予定です。



外国人市民のための日本語教室を開講

12 月 14 日、働く女性の家で 6 回目の「日本語教室」が開講。日本語を学びたい外国人市民に対し、かすみがうら国際交流会が、まちづくりファンドを活用して 11 月から毎月第 2・4 月曜日、木曜日に開講中。やさしい日本語を学んだボランティアの方がさまざまな国出身の生徒に身近な日本語を教えたり、生活相談を受けたりしました。会代表は「私たちと一緒に多様な国際交流活動してくれる会員を募集しています」と話してくれました。



ミニ門松づくりで新年の準備

12 月 26 日、雪入ふれあい里公園で親子参加型の「ミニ門松づくり」が行われ、5 組が参加しました。毎年、「クラフト市」が開催されていましたが、新型コロナウイルスの影響により「ミニ門松づくり」のみ開催。松・竹・梅など自然の材料を使い、親子共同で華やかに作り上げていました。参加者は「2020 年は新型コロナウイルスの影響により、大変な 1 年でした。来年は良い年なるように神様をお迎えしたいです」と話してくれました。

